

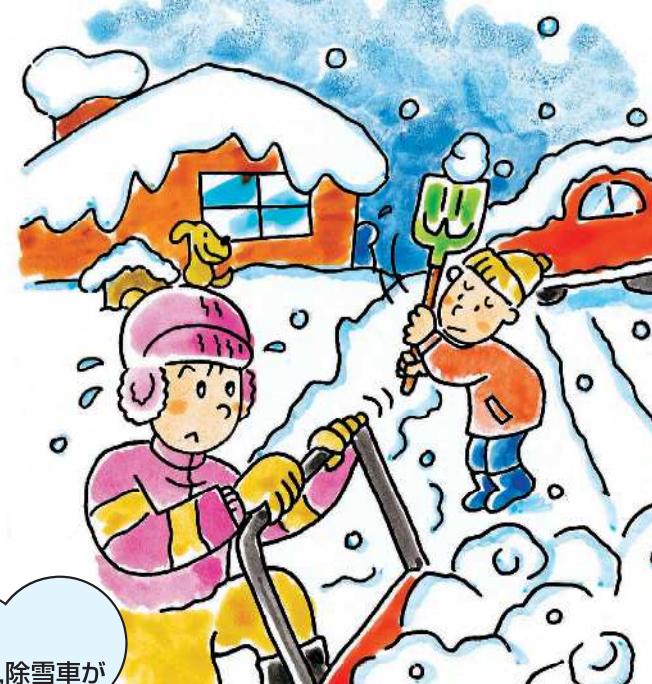


私たちの街で税は…?

何に使われるのだろう

せいむさん、まなぶさん、よし子さんの3人は、「税金は、学校以外にも生活の中で活躍しているはず」と考え、札幌市役所に問い合わせて調べました。

何のために	使われた税金の金額



もしも、除雪車が
来なかつたら
たいへんなこと
なるわ。

私たちが豊かで安定した生活ができるように、
国・北海道・札幌市はいろいろな仕事をしているよ。
私たちは、その仕事に必要なお金を税金という形
で納めているんだ。だから税金は「私たちの生活を
支える会費」といえるね。



●冬の快適な生活のために



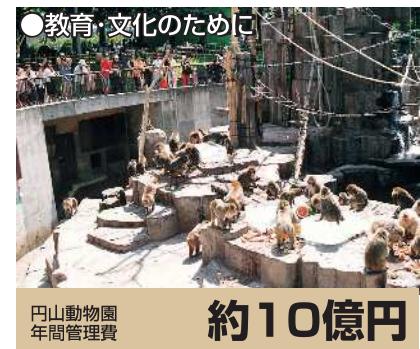
除雪費
(道路の除雪、ロードヒーティングの管理・整備など)

約276億円



消防費
(消火・救急活動、
消防施設の整備など)

約69億円



円山動物園
年間管理費

約10億円



ごみ処理関連費
(収集、処理、リサイクル
の推進など)

約416億円

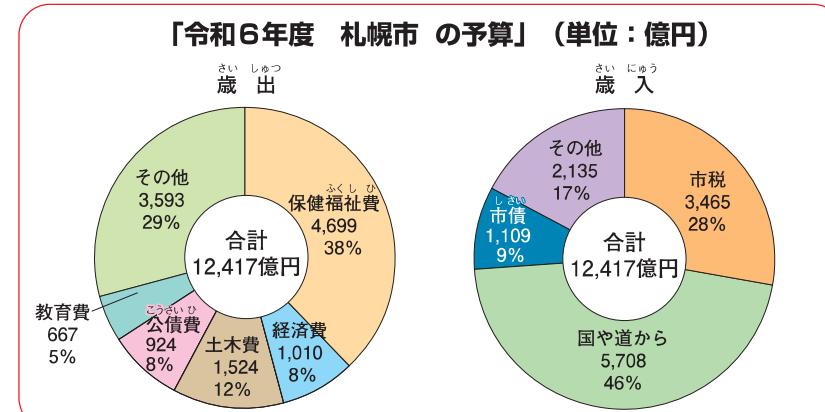


保育所・幼稚園
などにかかる経費

約760億円



たくさんの税金が、
私たちのために使われているんだね。



震災に対する札幌市の支援

札幌市は、平成23年(2011年)に起きた東日本大震災の際、震災に見舞われた地域に対し、被災者の救助・救援のため、延べ1,000人以上の職員を派遣したり、毛布や缶入りパン、飲料水などを被災地に送ったりしました。また、平成28年(2016年)の熊本地震、令和6年(2024年)の能登半島地震の際にも、被災地への支援を行いました。

このように災害が起こった被災地の被災者支援にも税金が使われています。